

生保・損保・投信を駆使し 顧客のより良い未来を実現



トータルサービスネットワーク
社長 樋口義高



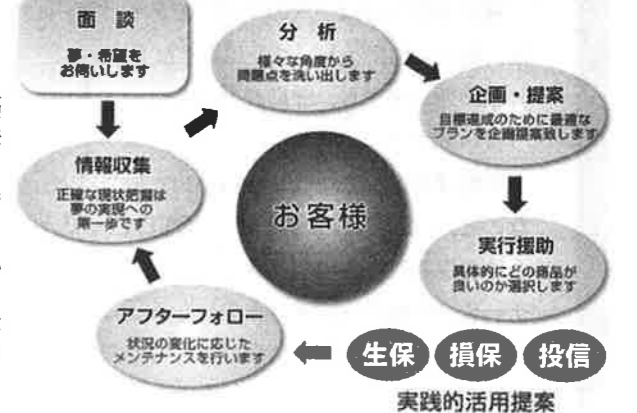
愛知中小企業家同友会の元氣印

当社はお客さま一人ひとりのライフプランニングをベースに生保・損保・投資信託をコンサルティングする会社で、どんなことが起きても困らないよう保険で手当てしつつ、余剰資金を運用することで、夢を実現したり、老後資金も増やしていく——そんな提案ができる組織になっています。

私はいま五十歳で、大学を卒業後に東京海上火災の研修制度で三年間を送り、二十五歳で個人事業主として独立、三十歳でこの会社を設立しました。振り返ると二十代で損害保険を手掛け、三十代で生命保険の取り扱いも始め、四十歳で投資信託の扱いを始め、五十歳になります。これらを自分でやりながら、三十五歳のときに社員を採用、以後、徐々にスタッフを増やしてきました。

二十代のころは「いかに取扱保険商品を売るか」という発想でした。三十歳でこの会社を作ったのは、われわれは「お客さま

顧客のライフプランを継続的にサポート



の代理店」であり、お客さまと一緒にいろいろな会社の商品から最適なものを探していくべきだと考えたからです。

志を持って数年後の九六年、保険業法の大改正があり、生保と損保の相互参加ができるようになった。複数の保険会社の商品を取り扱うことも可能となりました。そこでまず生保を増やし、その後、損保も乗り合わせることに。しかし実際は保険会社がなかなか乗り合いを認めてくれず、苦労しましたが。

うちの特徴はそれにとどまらず、十年前には証券仲介も手掛けるようになった点にあります。保険と運用の両方をやっている代理店は今もほとんどないでしょう。そしてうちの運用の特徴は「長期」「国際」「分散投資」。分散は投資分野の分散だけでなく時間分散も行うことで、リスクを平準化させています。

お客さまの夢と現実とのギャップをお聞きし、実現のためには毎月どれだけ貯めていかないといけないかという目標設定を行い、それを成しえるために金融商品を選択していく——この作業はまさに同友会で学んだ経営指針の書き方と同じです。

もちろんお客さま自身の状況は変化していきますし、外的な環境変化も起きます。そこで「身近な相談相手として、何かあったら電話してください」とその都度連絡をいただき、対応をさ

せていただく。そうしてお客さまと一生お付き合いしていくというビジネスモデルなんです。飛び込み営業はしませんし、チラシ配布などの宣伝もほとんどやっていません。ほぼ口コミによる問い合わせと紹介です。重視しているのはマーケティングシエアをどう取るかではなくて、お客さまの中の当社の割合、「カスタマーシエア」をどう増やすか。いいサービスを提供する

ことで信頼を得て、「すべてお任せする」と言っていただけのが目標なんです。

うちのテーマは「安心感に守られたわくわく感の提供」。もし保険に入っていないと、ブレーキがかかって無茶できない場面も起きます。本当にわくわくと楽しく働き、いい人生を過ごすためには、きちんとした安心感が必要です。私たちはその具現化を目指します。

名古屋市中区錦3-5-18 京枝屋ビル4階
TEL (052) 971-2671 FAX (052) 971-5406
http://www.douyukai.or.jp/



愛知中小企業家同友会

だより

名古屋市中小企業振興基本条例学習会 — 条例を中小企業の力へ —

(1月30日)

愛知同友会名古屋第三支部では、昨年4月に施行された「名古屋市中小企業振興基本条例」を理解し活用できるよう、名古屋市産業労働課産業企画係長の庵地大成氏と名古屋市産業労働課産業企画係の内藤祐子氏を迎え、条例学習会を開催した。

全国の各自治体で条例が作られているが、名古屋市内で長い間経営をしてきた企業が今後も継続できるようにとの思いを込め、「名古屋市の経済や暮らしを支える中心は中小企業」という文言を前文に入れた経緯を説明。その中小企業が持つ力を発揮し、地域経済の好循環を生み出すためにも、行政だけでなく中小企業や金融機関、市民の協力も得ながら役割を果たしていくことを強調。企業の実態や意見を把握するため職員が現場へ足を運ぶ「チャレンジ500」や、中小企業家を集めて現状や課題、振興方策を話し合う「意見交換会」の開催など、条例の目的の実現に向けた取り組みが紹介された。

その後、業種別にグループ討論を行って課題を率直に行政へ伝え、行政と中小企業が共に取り組んでいくことが確認された。最後に、愛知同友会側より「行政と良い関係を築いていきましょう」と締めくくり、条例の活用と良い経営環境の実現へ向けた第一歩となる学習会となった。



名古屋職員より条例制定の経過や特徴が説明される

愛知中小企業家同友会

問い合わせ
〒460-0003 名古屋市中区錦3-5-18 京枝屋ビル4階
TEL (052) 971-2671 FAX (052) 971-5406
http://www.douyukai.or.jp/